

島根原発の再稼働を認めない！署名統一行動のご案内

島根原発エネルギー問題県民連絡会（エネ連）で取り組む「島根原発の再稼働を認めない！署名統一行動」に多くの皆さんより参加をいただき、ありがとうございます。

今月も引き続き統一署名行動を行いますので、ご案内します。

署名統一行動は、前回の比津が丘と上乃木・浜乃木が、まだ多く残っていますので、その続きをします。

☆ **11月26日(土)9:00~12:00** 比津が丘
集合場所は、前回と同じく比津が丘入り口 三叉路の歩道橋付近です

☆ **11月27日(日)9:00~12:00** 上乃木・浜乃木
集合場所は、同じく運動公園入口(右側)の駐車場です

11月9日原子力規制委員会が、九州電力玄海原発3・4号機（佐賀県玄海町）を新規規制基準に適合しているとする審査書案を了承しました。ところが玄海原発近傍の活断層調査や耐震問題、MOX（プルトニウム、ウラン混合酸化物）燃料を利用するプルサーマル運転の計画、困難な避難計画など、課題は山積みしたままでの承認です。これで規制委が審査書案を了承した原発は、九電川内原発1・2号機など5原発、10基になりました。

松浦 正敬 松江市長が、来年の市長選挙への立候補を表明しました。そして島根原発の再稼働について「日本経済のために原発は無くってはならない」と発表し、規制委員会の認可がありれば、直ぐにも再稼働を容認するかまえを明らかにしています。

原子力規制委員会は、既に島根原発の審査をすすめており、再稼働の危険さは日に日に増しているのが今日の状況です。このままでは、原発再稼働は強行されてしまいます。

署名運動は、県民一人一人と対話し、「危険な原発は動かすな」の世論を形にする極めて重要な取り組みです。また、対話をする事で、県民意識を直接私たちに感じ取らせる貴重な体験を与えてくれます。同時に相手には、資料を渡し言葉で直接、原発がもつ危険な内容を知らせることができます。私たちは、今こそ力を合わせ総力で島根原発再稼働阻止のたたかいに立ち上がりましょう。

日常の署名運動と同時に、今度の統一行動にはより多くの仲間が参加し、運動を成功させましょう。

皆さんの参加を心よりお願い致します。